



お知らせ

記者発表資料  
配布日

平成29年7月19日

■同時発表先：三次記者クラブ

中国新聞社吉田支局

平成29年7月3日から5日の出水時における治水事業の効果について

江の川の土師ダム流域では、7月3日夕方から5日昼頃にかけて、梅雨前線の影響により強い雨が降り、土師ダム上流で降り始めからの流域平均累加雨量232mmを記録しました。

このため、土師ダムではダムへの流入量が最大で毎秒約820m<sup>3</sup>に達し、このうち、最大で毎秒約380m<sup>3</sup>の水をダムに溜め込みました。

この結果、下流の安芸高田市吉田町付近で、水位を約1.4m下げ、堤防設計、河道の整備等の基準となる計画高水位以下の水位に抑え、江の川からの氾濫被害を防止したものと推定されます。（別紙-1）

また、通常の日災操作に加え、ダム下流の更なる被害軽減を行うため、ダム下流河川の状況に応じて、今後の予測降雨量、ダムの残りの貯水容量等を勘案しながらダムの貯水容量を可能な限り有効活用し、放流量を規定（操作規則・細則）よりも減じる操作（適応操作）も実施し、通常の日災操作と比較して下流の吉田町付近で約0.8mの水位を下げるとともに国司地区では排水ポンプ車も出動しましたが、河川に排水できずに氾濫していた時間の短縮に寄与したものと推定されます。（別紙-2）

江の川本川の三次市粟屋町旭地区においても、平成25年度に完成した堤防の整備効果により、浸水被害が防止されたと推定されます。（別紙-3）

<問い合わせ先>

（河川関係）

国土交通省 三次河川国道事務所 0824-63-4121（代表）

【担当】副所長（河川） 田村 実（内線204）

【担当】建設監督官 栗原 淳（内線403）

（ダム関係）

国土交通省 土師ダム管理所 0826-52-2455（代表）

【担当】管理所長 犬山 正（内線201）

【担当】専門官 坂本 和雄（内線330）